

災害発生時の心得

～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に帰宅を始めると、負傷する恐れがあり危険であるほか、救助・救急活動の妨げとなります。

【むやみに移動を開始しない】

- ・まずは自分の身の安全を確保しよう。
- ・職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- ・災害用伝言サービスにより家族の安否や自宅の無事を確かめよう。
- ・交通情報や被害情報などを入手しよう。



災害伝言ダイヤル
171
災害時、被災地との通話が困難な場合、
声の伝言板として使用できます。

【日頃から準備しておきたいこと】

- ・事前に家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておこう。
- ・職場などに歩きやすいスニーカー・懐中電灯・モバイルバッテリー・手袋・飲料水や食料などを用意しよう。
- ・徒歩やバスによる帰宅経路の状況を確認しておこう。
- ・帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどを確認しておこう（千葉県や九都京市ではコンビニやガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供していただけます）。
- ・携帯ラジオや地図を持ち歩こう。

お問い合わせは、防災対策課（4階） ☎(36)7580、FAX(20)1602へ。

文芸コーナー

花咲がに

時女 礼子

大手スーパー 魚屋の店頭に
真っ赤な大きなかにが並んでいた
このかにの名前は花咲がにと言ひ
見栄えがすこぶるよい
わあ、でかいな！
ほら見て、大きい！
かにの見物客も多かった
釧路が故郷という男性がやって来て
教えてくれた
トンカチで甲羅を割ると簡単に割れ
味はかなり旨いと
そんな言葉につられて話の種にと
私も一杯買ってみた
新年の食卓にデンと乗った花咲がにの
美味しかったこと
身もびっしり入っていた
花が咲いたような鮮やかな色のかには
自分へのご褒美となった

◎選評 斎藤正敏

買い物客が見物客に変わる程に花咲がにの存在は立派だったのでしょ。新年をひかえ年の瀬の雑踏を往くのは庶民の常なのですが…。



- 偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
 - 投稿は楷書でお願いします。作品・氏名にふりがなをふってください。
- ※詩の原稿送付先（直接選者）へ 〒297-0032 茂原市東茂原7番地 斎藤正敏宛。
「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内でお願いします。